



学校だより



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>

11月号

学校教育目標 ㊦いさつから輪を広げる子 ㊧ふうして学び続ける子 ㊨たしもあなたも命を大切にする子

コミュニケーションを求めるとめ

こう ちょう すずき まさのり
校長 鈴木 正憲

日頃より教育活動に温かいご支援とご理解をいただきましてありがとうございます。台風21号の影響により午前7時の段階で横浜市全域に「暴風警報」が発令されていたため10月23日(月)は臨時休校となりました。今回はメール配信をさせていただきましたが、メール配信はあくまでも補助的手段となりますので、ニュース等で情報を確認し、ご家庭の判断で災害に備えていただければと思います。



区児童音楽会で堂々と演奏する3・4年生

10月18日(水)、「はまっ子スポーツウェーブ 第67回横浜市立小学校体育大会」が開催され、「Let's Dance With YOKOHAMA」を日産スタジアムに集まった6年生が交代で見合いました。演技はもちろん素晴らしかったのですが、これまでの過程で切磋琢磨しながら身に付けてきた「育ち」がよく伝わってきて胸が熱くなりました。リレーや100m走、走り幅跳びに出場した選手だけでなく、一緒に朝練習に取り組んできた仲間たちと喜びを分かち合っていました。

27日(金)は、3・4年生全員で瀬谷区児童音楽会に参加しました。学校でも朝会で全校や保護者の前で演奏を披露しましたが、瀬谷公会堂での演奏が一番よかったと思いました。一人ひとりの声ははっきりとホールに響き、美しいハーモニーを奏でていました。瀬谷区で2つの学年が全員参加するのは本校だけでしたが、心をひとつにして、同じ目標に向かって力を合わせるこの素晴らしさを実感することができたのではないかと思います。これらの活動だけでなく、最近あくわっ子の表現する力が高まっていると強く感じます。それは、『コミュニケーションを求めるとめ(人と関わろうとする心)』です。声に出してするあいさつに加えて、目と目で気持ちを伝えるアイコンタクトも上手にできるようになってきました。

さて、今年の『あくわ博』は12月2日(土)に行います。昨年度からパピリオン形式の発表を体育館のステージ発表へと大きく変えました。その結果「子どもたちの育ちがよく伝わってきた」という声が多く聞かれ、嬉しく思いました。ステージ発表は、ショーのようなエンターテインメント性が求められ、楽しませてくれるという期待感が強くなり、見ている側が受け身になりがちです。指導者が見栄えを意識し過ぎて、教え込んだり、やらせになったりしてしまえば、教育活動としての価値は薄くなってしまいます。そこで子ども一人ひとりが「育ち」を実感し、成長を語れること。活動を通して自己有用感や自尊心を高めること。学校としての一体感が得られること。を目標に掲げて活動を進めてまいります。保護者、地域の皆様も受け身にならず、共に子どもたちの「育ち」を応援していただけたらと思います。